

目標達成計画

作成日: 平成 30年 5月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議のメンバーの固定化が窺え、地域住民の参加が滞っている。	地域住民に根気よく参加協力を依頼し、広く意見を求めるとともに、意見をサービス向上に活かしたい。	地域ケア会議に参加し、民生委員の方に参加の依頼を行った。また地域住民の方にも根気よく協力依頼行う。	3ヶ月
2	35	自然災害訓練と夜警職員の訓練参加や、非常持ち出し品の整備はこれからである。	消防団や地域知見者等にホーム内見てもらい、得られた助言を活かす。夜間有事に備え夜警職員の訓練参加を行う。また、避難先で利用者が変わらぬ支援が受けられるよう、非常持ち出し品の整備を行う。	5月に行われる、北消防との消防訓練時に自然災害時等の対応策を北消防職員に伺う。また非常持ち出し品は個人ファイルを整備し、利用者の全体の姿の写真等を載せ歩行は可能なのか、車椅子なのか写真を見てもわかるように詳しく用いる。	2ヶ月
3	36	職員は入居者を呼ぶ際には苗字にさん付けを基本としているが、本人の反応が鈍い場合は、家族が希望する呼び方で呼んでいるが、職員の呼びかけが本人の人格を尊重しているか疑問である。	職員には、入居者は人生の先輩であり、人格の尊重や尊厳の重視が求められる。「ちゃん」付けについては、自身に置き換えて検討しホーム全体で見直す。	月一回のユニット会議をにて接遇や人格の尊重や尊厳について研修を行い、あらためて職員の利用者への関わり方の振り返りを行い呼び名の検討を行う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月